

5年次生が3年次生に教えた「TO学習」の「R80」

前号（第184号）で紹介した「TO学習」の最後に、「R80」で振り返りが行われました。下記の内、上段は3年次生●、下段は5年次生●の「R80」です。

- 先輩や友達からアドバイスをもらって分からないところを解決できた。また、1:2の学習で今までよりもずっとやる気がわく時間と雰囲気が出て、とてもよかった。
- 今日の授業で、物理をどんなふうに勉強すれば良いか、が良く分かりました。だから、今回のテストの復習のつづきや演習をしっかりつんで、経験値を上げていきたいです。
- 今回の授業では、今までに無かった上級生の方々との交流がありました。それによって、同じ学年の人たちとの交流では分からないことが分かり、とても有意義でした。
- 自分だけでは解決することや、より早く解くことができない問題がある。しかし、5年生にアドバイスをもらうことで、より深く学習できたと思います。
- 5年次生からとても分かりやすい説明をもらい、なぜ間違えたかが分かった。だから、今度は自分がその説明を分かりやすくできるようにしたい。

- 改めて力学の基礎を学びなおすことで、抜けていた知識や考え方などを復習する良い機会になった。また、説明を理解してくれたときの喜びも味わうことができて良かった。
- 昔習ったことを復習し直し、わかりやすく説明するために図を使ったり言葉で工夫したりできました。他の学年の人と交流できておもしろかったです。
- 今まで物理の問題を解くときに感覚的に解いていたことが多かったことがわかった。人に説明する時は自分の感覚は伝えられないので、理屈を理解することが大切だとわかった。
- 自分では問題をどう解けばいいのか分かっていて説明できるつもりだった。しかし、他の人に説明する時には、全体の流れを明らかにする必要があることを学べたと思う。
- 自分がきちんとわかっていないと説明が難しいことがわかった。だから、普段の勉強でも他の人に説明できるくらいの理解度が必要だと思い、これからの勉強につなげたい。

とても素直な気持ちが出ている「R80」だと思います。私は、「何のために学ぶのか」と言った時、「自分のために学ぶ」という視点とともに、皆さんには「他の人のために学ぶ」という視点も持って欲しいと思い、昨年12月22日の全校集会でお話しました（ドリーム第146号）。最後に「風に立つライオン」を歌った時の校長講話です。

今回、5年次生は、教える「喜び」を感じたことと思います。「他の人のために学ぶ」という視点を体感したのではないのでしょうか。このような学年を越えた「縦割り学習」である「TO学習」が本校で更に発展するとともに、全国の学校にも広がっていくことを期待しています。私は、これからも「主体的・対話的で深い学び」である「アクティブ・ラーニング」を全国に広めていく努力を続けていこうと考えています。



◆今号の写真は、松井先生が撮ってくれたものです。前号（第184号）は私の撮影です。